

## 議員派遣結果報告書

令和7年第2回定例会において議決された議員派遣について、次のとおり実施したので、その結果を報告いたします。

令和7年9月3日

愛南町議会議長 吉田 茂生 殿

愛南町議会議員 鷹野 正志

### 記

#### 1 研修の経過（議員派遣の概要）

本議員派遣は、地方行政及び議会の制度運営等に関し学ぶことを目的として、令和7年8月8日（金）に松山市一番町3丁目2-1「ANAクラウンプラザホテル松山」で開催された令和7年度第1回町議会議員研修会（愛媛県町村議会議長会主催）を受講したものである。

#### 2 研修の詳細

##### （1）派遣議員

山本美佐、田中純樹、岡雄次、尾崎恵一、池田栄次、吉田茂生、石川秀夫、金繁典子、鷹野正志、中野光博、濱本元通、吉村直城  
以上12名（欠席：嘉喜山茂、原田達也）

##### （2）研修内容

###### 講演①

演題 「議会が行うべき予算・決算審議について」

講師 一般社団法人 地方公共団体政策支援機構

上席研究員 渡辺 太樹 氏

議会の大事な権限である予算の議決と決算の認定の審議の進め方について、概ね次のような話があった。

予算・決算審議は財政のデータや総合計画との関連をみて、政策の効果を検証することが目的であって、細かい金額の数字をみることは目的ではない。限られたお金を何に使うか、その政策で課題解決ができるのか、予算をしっかりと事前検証し、決算では、その効果を事後検証することが目的であり、町民の意思を反映し、必要性や効果を質し、町の継続的発展のためにお金が使われているかを考えるのが本質である。財政の構造を知ったうえで、視点を定めて問いを立てることが重要な議会の役割であり、歳出に目が行きがちだが、まず歳入からみていくことが必要である。歳入では、町税や使用料等の自主財源と地方交付税等の依存財源の割合を知り、自由に使えるお金をどこに投じているのか、

将来的に自主財源を確保できるのか、歳出では、自治体の維持運用費用（人件費、物件費等）の最適化と住民へのサービス提供費用等の変えられない費用、将来の町の価値を高めるための費用がどれだけあるか等、見るべきポイントを把握することが必要である。町の現状がどうなっているのか、何が課題なのか、町民が何を望んでいるのか、総合計画では何に重点施策を置いているのかを踏まえて、それに基づく予算を優先的にみることが重要であり、何に何を優先的にどれだけ使っているか、それが有効かつ効率的に使われているか、そして効果があったのかを問い、費用対効果や施策の継続や縮小について問いを立てることが議会の審議である。検証し改善するサイクルを回していくことが重要である。

## 講演②

演題 「自治体議員のコンプライアンス」

講師 弁護士 帖 佐 直 美 氏

自治体議員のコンプライアンスについて、概ね次のような話があった。

コンプライアンスは本来、法令順守という意味だが、現在は社会的に守るべき道德という意味合いで使われる。自治体議員のコンプライアンスという面では、選挙で選ばれ公職についているという点で、一般の方よりも高い良識を自覚して行動する必要がある。議場では、無礼の言葉の使用や私生活にわたる言論は禁止されている。国会議員には議会の中での発言等で責任を問われないが、自治体議員については、懲罰の対象になったり、名誉棄損、侮辱罪等に問われる可能性がある。議場外においては、不用意に写真をSNSに投稿したりすると著作権法やプライバシー権、肖像権を侵害する恐れがあるため注意が必要である。その他にも、公職選挙法や兼業禁止についても失職する恐れのある行為には十分注意を払う必要がある。また、ハラスメントについても、常に意識し注意して行動する必要がある。大丈夫と思っても、常に世の中の価値観が変化していることを念頭に置いておく必要がある。

## 研 修 報 告 書

令和7年度第1回町議会議員研修会について、次のとおり報告します。

1. 研修名（主催者） 令和7年度第1回町議会議員研修会  
（愛媛県町村議会議長会）
2. 研修視察日時 令和7年8月8日 13:30～17:00
3. 研修視察先 愛媛県松山市（ANAクラウンプラザホテル松山）  
研修内容  
講演1 演題 「議会が行うべき予算・決算審議について」  
講演2 演題 「自治体議員のコンプライアンス」
4. 研修目的 地方行政及び議会の制度運営等に関する研修のため
5. 所見・所感

### （報告1）

「最小の経費で最大の効果を」この原則に基づき、予算で政策の意思、決算で検証。決算こそ総括する意味から重要である事を再認識した。

### （報告2）

講演1 「議会が行うべき予算・決算審議について」

予算・決算でみるべき重要な点、それを単体としてではなく、総合計画と連動して議会がチェックし、住民にとってより良い政策を実現していくことにつなげることの重要性が理解できた。これまでは個々の「事業」のチェックにほとんど注力してきたが、このような大局的な視点と実行こそ、議会の役割を果たす上で重要であると気づかされた。

非常に有用な内容だった。

講演2 演題 「自治体議員のコンプライアンス」

コンプライアンスに関し網羅的に説明されたが、その分、内容が多く、一つ一つを掘り下げることは難しかった。重要課題について掘り下げる研修も望みたい。

### （報告3）

両公演とも、とても学びが多く、参考になりました。

講演1では、予算や決算書の読み方をわかりやすく説明していただき、今後の議員活動に非常に役立つと感じました。特に、予算や決算を通じて政策の成果を確認したり、新たな疑問を見つけたりできるという視点は、これまでの自分になかった新しい気づきでした。

講演2では、コンプライアンスという、時代とともに変化し続け、学び続けるテーマについて、新たな視点を学ぶことが出来ました。

議員としての視点だけでなく、さまざまな立場からのお話も伺え、大変勉強になりました。

常に知識をアップデートしていくことの大切さを実感し、今後の糧にしていきたいと思います。

#### (報告4)

《講演1について》

・『事後検証』としての決算審議と『事前検証』としての予算審議について再認識すると共に、総合計画等に沿った予算配分等町の継続的発展のためにお金が使われているかどうかの検証をしっかりとチェックしていく事の重要性を再確認致しました。

《講演2について》

・自治体議員がコンプライアンスを徹底することは、義務ではなく、地域社会への責任であり、法令を遵守して住民の模範となるよう努めてまいります。

#### (報告5)

講演1 渡辺講師から2元代表制の下で予算は執行部が計上し議会が議決し予算が組まれる以上、予算の執行状況及び効果を検証する決算は、議会にとって非常に重要である。PDCAを回していくためにも決算の検証は、今後の町政にとっても政策決定する上で重要性を増しているため視点を変え取り組んでいきたい。

講演2 帖佐講師から具体的な自治体の具体例を挙げて頂き、パワハラ、セクハラ、モラハラ等わかりやすく説明していただいた。常に相手の立場に立って言動する事が重要であるので今後の言動には、慎重かつ丁寧なコミュニケーションを心がけていきたい。

#### (報告6)

「議会が行うべき予算・決算審議について」

決算審議の手法について、①構造を知る「自由に使えるお金がどれだけあるのか、どこに投じているか」「将来の自主財源は確保できるのか」「変えることのできる自治事務の歳出を見る」「見るべきポイントを構造で把握する」②視点を定める「現状・課題・政策・総合計画を関連付けて視点を定める」③問をたてる「目的・効果・達成度・コスト・施策継続の根拠を問う」の手順で最小の経費で最大の効果を上げるための審議について理解し、今後の審議に活用していく。

「自治体議員のコンプライアンス」

議員のコンプライアンス・ハラスメントについての認識を深めた。議員は選ば

れた「良識の人」としての自覚をもって法令を守ることだけではなく、社会人としての道徳や倫理観を大切な指針として、また、各ハラスメントの防止に努めながら議員活動を行っていく。

### (報告 7)

講演 1 演題 「議会が行うべき予算・決算審議について」

愛南町としての目標設定やマイルストーンの設定に対し、予算と決算の執行の在り方について多くの学びがありました。会社経営と同様、最小の出資で最大の効果をあげることが重要であり、その効果の目標は総合計画に位置付けられるため、総合計画の策定・実行が極めて重要であると再認識しました。

また、EBPM を基本とした KGI・KPI の適切な確認や進捗管理の必要性についても理解を深めました。さらに、日々の生活に直結する予算の存在を軽視していた点を反省するとともに、人口減少による税収減が見込まれる中、歳費全体について一層真剣に考えていく必要性を強く感じました。

講演 2 演題 「自治体議員のコンプライアンス」

パワハラやモラハラといったハラスメントは、社会通念や常識の変化に大きく影響されるため、議員としての言動には常に慎重さが求められることを学びました。

人を攻撃するのではなく、対話や思いやりをもって接することは当然の姿勢であり、議員は法令を遵守することに加え、人に優しく、愛南町の未来のために建設的に行動する重要性を改めて認識しました。

### (報告 8)

今回の研修では、予算・決算審議の重要性や、議員としてのコンプライアンス意識の向上について、具体的な事例を交えながら学ぶことができました。

特に、議会が果たすべきチェック機能のあり方について改めて考える機会となり、日々の議会活動に活かしていきたいと感じました。

今後もこのような研修を通じて、知識と意識の向上に努めてまいります。

### (報告 9)

議会が行うべき予算・決算審議について

町民の意思、必要性、町の継続的発展のために使われているか審査することが審査の本質であること。予算審議、決算審議の重要性を学習しました。

自治体議員のコンプライアンスについて

選ばれた「良識の人」としての自覚、住民の模範として行動する。

議員に求められるコンプライアンスについて学習しました。

## **(報告 10)**

### 演題 1.

予算・決算の本質的な目的、また総合計画等の政策に対する予算配分の整合性とその成果（決算）の検証など自治体の経営に関する講義であり、分かりやすく今後の議会活動に参考になった。

### 演題 2.

議員として様々な法令（条例や規則）に基づき、守るべきコンプライアンスをいろいろな事例を挙げながらの講義であり、興味深く聞かせていただいた。

## **(報告 11)**

人口減少の中で自治体経営とは？本来、議会がやるべきこと、財政を捉える3つの着眼点 ①構造を知る ②視点を定める ③問いを立てる など。

自治体議員のコンプライアンスでは、法令順守、ハラスメントとは、パワハラなど勉強になりました。

## **(報告 12)**

大変勉強になりました。

今後の議員活動に役立てたいと思います。